

平成28年度燕市観光協会事業報告及び収支決算報告について

1. 観光イベント開催事業

17,144,838円

(1) つばめ桜まつり

(事業費 13,377,099円)

第74回を数える燕市最大の観光イベント「分水おいらん道中」は、当日強風のため分水総合体育館内で実施しました。屋内開催にも関わらず大きな混乱や混雑はなく、約7千人の入込となりました。今回は日本在住の外国人が初めて太夫役に選ばれ、話題を呼び、報道関係やSNS等の発信も含め、国外の観光客も見受けられました。また写真撮影用の染井吉野太夫は広報活動を担ってもらうため、一般公募ではなく県内を中心に活動しているモデル事務所に依頼しました。

「つばめ桜まつり」全体では、吉田地区・燕地区・分水地区でそれぞれイベントを開催し、「春は桜でおもてなし」を合言葉に市民一体感の機運醸成と、誘客取組を継続してきました。

運営委員会や市内の高校生からボランティアスタッフとして協力参画いただき、取り組みの充実をはかりました。

◎つばめ桜まつり 4月 8日(金)～24日(日)の17日間

(夜桜ライトアップ)

4月8日～24日

大河津分水堤防・JR分水駅・文化会館前中ノ口堤防・ふれあい広場

(吉田ふれあい広場❀さくらフェス)

4月 9日(土)

(燕市交通公園&こどもの森❀さくらフェス)

4月10日(日)

(分水駅前❀さくらフェス)

4月16日(土)

(第74回分水おいらん道中)

4月17日(日)

(2) 酒呑童子行列

(事業費 3,767,739円)

燕市で唯一の参加型イベント「酒呑童子行列」当日は天候に恵まれ、243名の行列参加者、および会場周辺には約8千人の入込を数えました。PR活動や行列をより見応えあるものにするため、新たに鬼の仮面を作成しました。また、市内の高校生延べ29名からボランティアスタッフとして企画段階から携わっていただき、掛け声、バルーンリリース等様々なアイデアを取り入れました。さらには出店者から鬼をモチーフにした商品を展開してもらうなど、鬼を中心に地域がひとつになる取組を実施することができました。

また、引き続き全国の鬼関連自治体との交流を行い、福知山市の酒呑童子まつりに参加し、本市のPRを実施しました。全国鬼サミットは調整がつかず、不参加となりました。

◎第12回酒呑童子行列 9月25日(日)

酒呑童子まつり(京都府福知山市) 10月30日(日)

2. 受託事業

8,100,399円

(1) つばめ観光交流連携事業

(事業費: 1,100,366円)

燕市と連携をはかり、観光PRキャラクター「きららん」を活用して各種イベント等へ積極的に参加をし、燕市の魅力やイベント情報を直接伝えることで知名度アップを図り、燕市への誘客活動を行いました。また広報活動に活用するため、きららんのステッカーや折り紙などノベルティグッズを作成し、イベント時に配布しました。

・南陽市ワインフェスティバル(山形県南陽市)	8月26日
・弥彦モンゴルフェア(西蒲原郡弥彦村)	8月27, 28日
・八色の森市民まつり(南魚沼市)	10月9日
・南陽市菊祭り開会式(山形県南陽市)	10月14日
・南陽市菊まつり(山形県南陽市)	10月29, 30日
・大江山酒呑童子祭り(京都府福知山市)	10月30日
・南相馬市交流自治体フェア(福島県南相馬市)	11月3日
・東京ヤクルトスワローズファン感謝デー(東京都神宮球場)	11月23日

(2) つばめ「おもてなし力」アップ事業

(事業費: 7,000,033円)

国内や海外からの企業視察や産業観光等でお越しいただく来訪者に、更なる魅力の情報を伝えるために、語学力を備えた「観光ナビゲーター」を育成して、来訪者の満足度向上とリピーター化に取り組んできました。

また、市内の観光ボランティアガイド団体等への活動支援を強化し、ホスピタリティの向上とガイドの育成を支援しました。

おもてなし体験各種を掲載した「つばめぐり体験プログラム」パンフレットを8,000部作成し、県内の主な施設に配布しました。

◎観光ナビゲーターの育成

- ・観光ナビゲーターによるガイド30回 計549名
(内、外国人の視察対応7回 計134名)
- ・燕三条まちあるきの開催
新規2コース造成 年間2回開催 計17名の参加者

◎各種ボランティアガイド団体の活動支援

- ・国上山ボランティアガイドはちの子会による国上山周遊ガイド等
4月～11月 計4,671名(内、周遊ガイドは2,609名)
- ・里山花とみどりの会によるエコトレッキングツアー
年間6回開催 計95名の参加者
- ・ネットワークみどり緑による薬草観察と薬膳料理
年間2回開催 計59名の参加者

3. 観光プロモーション事業

879,876 円

(1) 観光プロモーション事業 (事業費：879,876 円)

燕の魅力情報を発信して行くためのツールであるパンフレット等の増刷や新たなポスター作成、各種パブリシティ等の活用他、公共施設等に告知展開を図り、知名度向上と誘客促進を進めました。また、つばめ桜まつりのポスター1,000枚、パンフレット25,000部を作成し、市内外の関係各所に配布掲出しました。

4. 産業体験等開催事業

202,464 円

燕市が誇る「ものづくり」の伝統と匠の技や「国上山の自然」に触れ、自然の大切さと魅力を広く楽しく理解してもらうことを目的に各種体験講座を開催しました。

(1) 彫金体験開催 (事業費：78,300 円)

彫金職人による直接指導により、木ノ葉のキーホルダー等の制作体験を開催しました。

- ・年間5回開催 計13名の参加者

(2) 鋳起銅器体験開催 (事業費：78,300 円)

鋳起銅器職人による直接指導で、小皿の制作体験を開催しました。

- ・年間5回開催 計15名の参加者

(3) 拓本体験教室開催 (事業費：45,864 円)

分水拓本研究会の指導により、名僧良寛さまの碑の拓本体験を開催しました。

- ・協会主催年間3回開催 計60名の参加者

(4) 国上山森林ガイドツアー開催 (事業費：0 円 おもてなしカアアップ事業より 300,000 円拠出)

森林インストラクターをガイドに、国上山の自然と役割を楽しく学び歩く体験できるエコトレッキングツアーを実施しました。(おもてなしカアアップ事業)

5. 他団体等連携事業

150,864 円

(1) 八王寺白藤保存育成事業 (事業費：100,864 円)

新潟県指定天然記念物である八王寺安了寺の大白藤の保存活動に取り組んでいる、八王寺大白藤保勝会を支援して地域の「宝」を守っていく活動を支援するとともに、ホームページで開花状況をこまめに更新して誘客にも努めました。

(2) 萬燈紹介広告事業 (事業費：50,000円)

木場小路萬燈組と横町萬燈保存会等と連携を図り、地域の歴史ある伝統行事の広報ポスター制作に関わる支援を行うとともに行事開催の告知紹介を図りました。

6. 観光資源活用事業	71,388円
--------------------	----------------

(1) 国上山山開き (事業費：71,388円)

良寛さまが晩年を過ごした「五合庵」や「乙子神社草庵」、また越後最古の名刹「国上寺」等、数多くの史跡が残る国上山は、近年誰でも気軽に登れることから人気を集めています。

この、国上山登山シーズンの幕開けとして、4月29日（金祝）に登山者の無事を願い、安全祈願祭を行いました。

燕市観光協会運営費	16,657,839円
------------------	--------------------

(1) 運営体制

昨年7月の法人化に伴い、4月から事務局長の専従と燕市からの派遣職員1名増員となり、規約等の改正や明文化、明確化をおこない業務体制の強化に努めてきました。

運営費の面では、法人化による市及び県への法人税の納税のための租税公課、各種税務申告に関する手続きの手数料の増加や社団法人専用の経理システムの導入及び事務所、公用車などの賃借料の増加などに加え、各種問い合わせによる観光パンフレット等の発送数の増加、資料等の印刷量が増加しておりますが、今後も業務改善を図りながらコスト削減に努めていきます。